



2020/02/17 (Final Version)

第 22 回 環境リモートセンシングシンポジウム

場所 千葉大学けやき会館 3階 レセプションホール・会議室 4

日時 2020 年 2 月 20 日 (木) 9:10~16:25

【口頭発表】: 9:10-11:45, 14:00-16:15 (発表: 10 分、質疑: 5 分) (3階レセプションホール)

【ポスター発表】: 12:45-13:45 (3階 会議室 4 など)

9:10-9:15 開会の挨拶 久世宏明 (千葉大学 CEReS センター長)

セッション 1: 「防災」(座長: 梶原康司)

(1) 9:15-9:30 金子大二郎 ((株) 遥感環境モニター)

スーパー台風と最大規模地震に対する河川氾濫・高潮・津波を想定した函体内蔵型多目的堤防の
構造要件と適用計画 – 首都圏の防災整備計画への応用 –

(2) 9:30-9:45 劉ウエン(千葉大学), 藤井希帆, 丸山喜久, 山崎文雄

衛星 SAR 画像を用いた 2019 年台風 19 号による河川氾濫範囲の把握

(3) 9:45-10:00 Luis Moya (Tohoku Univ.), W. Liu, F. Yamazaki, S. Koshimura, E. Mas

Automatic Landslide Mapping Using Peak Ground Velocity and Sentinel-1 Imagery
: The case of the 2018 Hokkaido Eastern Iwate Earthquake

(4) 10:00-10:15 服部克巳 (千葉大学), 宋鋭, 張学民, 劉正彦

中国地震電磁気衛星で観測された地震に関連する電離圏電子数異常

休憩 10:15-10:30

セッション 2: 「観測技術・システム・新規利用」(座長: 齋藤尚子)

(5) 10:30-10:45 増田健二 (静岡大学), 眞子直弘, 久世宏明

リモートセンシングによる広域の植物蛍光強度分布画像取得の提案

(6) 10:45-11:00 Yumi Takizawa (the Institute of Statistical Mathematics), A. Fukasawa,

C.E. Santosa, J.T.S. Sumantyo

Circular Polarization Plane Antenna with Elliptic Resonators using High Dielectric
Constant Substrates

(7) 11:00-11:15 野口克行 (奈良女子大学), 入江仁士

宇宙からのリモートセンシングによる地球惑星大気環境の研究～火星大気ダスト・雲と熱構造の関係

(8) 11:15-11:30 Prakhar Misra (Univ. Tokyo), Wataru Takeuchi

Public interest in air quality and its impacts vary with baseline exposure:

analysis using Google Trends and remote sensing datasets

(9) 11:30-11:45 李 想(千葉大学), 鈴木宣弘, 市井和仁

補助金が農家の行動心理に与える影響の分析

休憩(昼食) 11:45-12:45

ポスターセッション： 12:45-13:45 (3F 会議室 4 など) ポスターサイズ：最大 A0 版

セッション 3: 「ひまわり 8 号の応用」(座長: 楊 偉)

(10) 14:00-14:15 樋口篤志 (千葉大学)

千葉大学 CERE S における静止気象衛星データアーカイブの現状と利用

(11) 14:15-14:30 濱田 篤 (富山大学), 内木詩歩, 安永数明

ひまわり 8 号高頻度観測から同定した熱帯海上の雲システムの日周期

(12) 14:30-14:45 筆保弘徳 (横浜国立大学), 権田紗希, 樋口篤志

ひまわり 8 号と機械学習を用いた台風識別手法の開発

(13) 14:45-15:00 Haemi Park (Univ. of Tokyo), Wataru Takeuchi

Relationship between surface dry conditions, snow cover, and carbon dioxide emission from forest fire in Far East Russia

休憩 15:00-15:15

セッション 4: 「地球環境モニタリング・モデリング」(座長: 市井和仁)

(14) 15:15-15:30 加藤 顕(千葉大学), 渡辺学, 若林裕之, 早川裕弐, 堀田紀文, J.T.S. Sumantyo

多時期衛星画像を用いた森林火災傾向分析

(15) 15:30-15:45 馬淵和雄, 本多嘉明, 梶原康司

気候モデル数値実験結果による衛星プロダクト導出アルゴリズムの検証

– 全球バイオマス量変動監視・解析に向けて –

(16) 15:45-16:00 楊 偉 (千葉大学)

衛星リモートセンシングによる植物フェノロジーのモニタリング

(17) 16:00-16:15 小槻峻司 (千葉大学)

全球衛星観測降水データを用いた天気予報システムの高度化

16:15-16:25 閉会の挨拶(含; 次年度公募について) 市井和仁 (CERE S 共同利用研究推進委員長)

【意見交換会】

~~17:00-18:30 (けやき会館 1F コルザ) (参加費 3000 円)~~

⇒ 個別打合せ (けやき会館 3F 18:00 まで、以降 CERE S 会議室もしくは 102 室)

ポスターセッション プログラム (都合により番号が変更しております。ポスターボードをご確認下さい)

コアタイム 12:45-13:45 掲示時間 9:00-14:00

- P01: 室賀元晴 (千葉大学), 浜口暢, 難波一輝, Josaphat Tetuko Sri Sumantyo
UAV 搭載 CP-SAR 画像処理システム用の FPGA 基板設計
- P02: 千秋博紀 (千葉工業大学), 椎名達雄, 乙部直人, はしもとじょーじ, 久世宏明, 眞子直弘, 梅谷和弘
火星着陸探査 LIDAR の屋外性能試験
- P03: 香川直己 (福山大学), 新木智博, 椎名達雄
レーザを用いたセンサーネットワークのための光軸追尾システムの開発
- P04: 齋藤保典 (信州大学), 椎名達雄
航空機蛍光ライダーによる植生調査の可能性
- P05: 小室信喜 (千葉大学), 山岡卓矢
無線センサネットワークを用いた環境情報収集システムの開発
- P06: 椎名達雄 (千葉大学)
LED ミニライダーによる狭隅角波浪観測
- P07: 横堀 潤 ((株)スゴージャ), 丹羽勝久, 本郷千春
低コストドローンによる浅礫層分布の推定
- P08: 大前宏和 ((株)センテシア), 三宅俊子, ヨサファット テトオコ スリ スマンティヨ
ハイパー分光センサと小型分光器の比較計測
- P09: 染川智弘 (公益財団法人レーザー技術総合研究所)
レーザー誘起ブレイクダウン分光法を用いた大気中エアロゾルのリモート成分分析手法の開発
- P10: Dimitar Ouzounov (Chapman Univ)
Multi-sensor Web for earthquake early detection. Experimental results for the most recent major events
- P11: Liu Jann-Yenq (National Central Univ.)
Ionospheric tsunami early warning system
- P12: Nicola Genzano (Univ. of Basilicata)
Monitoring earthquake and volcano phenomena through HIMAWARI-8/AHI observations
- P13: 青木俊輔 (京都大学), 重 尚一
衛星搭載レーダでとらえたアラスカ湾岸での降水勾配と地形効果の寄与
- P14: 朝隈康司 (東京農業大学)
ドローンを用いたオホーツク海沿岸の濁度、クロロフィル a 濃度の推定
- P15: 朴 鍾杰 (東京情報大学)
ドローンによる水田モニタリングの可能性に関して
- P16: 中園悦子 (東京大学), 竹内渉
Sentinel1 の時系列データを用いた水田面積の推定
- P17: 若林裕之 (日本大学), 北神貴久, 本郷千春
Sentinel-1 SAR データを用いたインドネシア稲作地の洪水領域検出

- P18: Nuntikorn Kitratporn (Univ. of Tokyo) , Wataru Takeuchi
Land Cover Dynamics of Forest-Agriculture Mosaics and Human-Elephant Conflict Hotspots in Eastern Thailand
- P19: Md Rahedul Islam (Univ. of Tokyo) , Wataru Takeuchi
Remote Sensing and Model-Based Methane Emission Estimation from Paddy Rice Field over Bangladesh
- P20: 田中 圭 (日本地図センター) 、濱 侃、近藤昭彦
地上センサおよび UAV を用いた NDVI 同時観測の比較分析
- P21: 山本修平 (東北大学) 、本間香貴、牧雅康、本郷千春
シミュレーションモデルとリモートセンシングを用いた作物生産量推定法の検討
第 3 報 仙台市沿岸部農家圃場におけるダイズ生産量の圃場内変動評価
- P22: 濱 侃 (横浜国立大学) , 田中圭, 望月篤, 鶴岡康夫, 近藤昭彦
UAV リモートセンシングおよび気象観測を用いた玄米のタンパク含有率に対する温暖化の影響評価
- P23: 堤田成政 (京都大学)
土地被覆比率分類データにおける空間誤差評価
- P24: Zheng Yuhan (Univ. of Tokyo) , Wataru Takeuchi
Mangrove forests changes detection and biocapacity estimation in China
- P25: Lilangi Varunika Wijesinghe (Univ. of Tokyo) , Wataru Takeuchi
Analysis of Aerosol Optical Depth Variations in Colombo, Sri Lanka Using MODIS Datasets
- P26: 久慈 誠 (奈良女子大学) , 神谷美里, 中辻菜穂, 廣瀬沙羅, 高橋悠実
地上光学観測による奈良盆地におけるエアロゾルの研究
- P27: 丹羽洋介 (国立環境研究所)
大気輸送モデル NICAM-TM による一酸化炭素シミュレーション
- P28: 小林喬郎 (福井大学) , 椎名達雄, 久世宏明, 矢吹正教, 三浦和彦
極域・温室効果分子濃度の長光路吸収センサーの開発と観測
- P29: 植木光巨、高島久洋、Martina M. Friedrich、入江仁士
福岡都市圏における二酸化窒素 (NO₂) の時空間変動
～多地点 MAX-DOAS とドップラーライダーの複合的解析～
- P30: 江口菜穂 (九州大学) , 齋藤尚子, 丹羽洋介
上部対流圏のメタン変動について
- P31: Nguyen Thi Quynh Trang (Univ. of Tokyo) , Wataru Takeuchi
Emission inventories for key sectors in Ho Chi Minh city, Vietnam
- P32: Evizal Abdul Kadir (Islamic University of Riau)
Remote Monitoring System for River Water Pollution Using Multi-Sensor
- P33: Xuan Truong Trinh (Univ. of Tokyo) , Wataru Takeuchi
30 Years National Scale Seagrass Mapping in Vietnam with Landsat and Sentinel Imagery on Google Earth Engine

- P34: Yaru (Univ. of Tokyo) , Wataru Takeuchi
Analysis of Water Storage Changes in Xilingol, China Using GRACE Observations
- P35: 山本奈央 (奈良女子大学) , 村松加奈子, 増田健二
地上での太陽励起によるクロロフィル蛍光の日中変化の観測
- P36: 孫 仲益 (北海道大学)
マルチデータ解析による陸域生態系炭素循環の解明
- P37: Takahiro Osawa (ウダヤナ大学) , Abd. Rahman As-syakur
高分解能データを使用したインドネシアバリ島の観光都市エリアにおける植物基礎生産量と土地利用の経年変化の研究
- P38: 三好周斗 (首都大学東京) 、齋藤有希、松山 洋
複数の手法によるスギの葉面積指数の推定 – 阿蘇のスギ林はその後成長しているのか? –
- P39: 藤原匠 (東京大学) , 竹内渉
ボクセルモデルを用いた BRDF シミュレーションに必要な空間分解能についての検討
- P40: 宇都有昭, 横矢直人, 久世宏明, 松岡昌志, 山口雅浩, 熊澤逸夫, 原田隆, 安田翔也
2019 IEEE Geoscience and Remote Sensing Society Summer School の報告
- P41: 松岡真如 (高知大学) , 市井和仁
研究会報告 : ひまわり 8/9 号の陸域利用に関する研究会
- P42: 森山雅雄 (長崎大学)
次世代気象衛星からの地表面温度推定アルゴリズム開発 (その 2)
- P43: 飯倉善和 (弘前大学) , 久世宏明, 市井和仁, 眞子直弘, 関口美保
光学的厚さと地表面反射率の同時推定法とその課題
- P44: 山本雄平 (千葉大学) , 市井和仁
High frequency estimation of the land surface temperature using next-generation geostationary satellite data
- P45: 林 航大 (千葉大学) , 市井和仁, 山本雄平
ひまわり 8 号を用いた東南アジアの植生季節変動モニタリング